



遺伝子の情報をがんの治療・予防に役立てていただくために

がんの治療方針や予防方法は、遺伝子の情報に基づいて個別化されつつあります。がん細胞で起きている現象だけでなく、生まれた時から持っている遺伝子の情報の違いを知ることはこれからの健康管理（がんの治療や予防）を考える上で役立つことがあります。

がん経験のある方もそうでない方も、あるいはご家族にがん経験者が多い方もそうでない方も、お一人おひとりが遺伝子に関心を持っていただきたいという思いを込めて、がん研では“Gene Awareness”プロジェクトと名付け、院内外への情報発信を行なっています。

今回の講座では、エキスパートの先生方に、がんと遺伝子に関係する、最先端の研究と臨床の実際、そして今後の展望について、お話しいただきます。

日時

2024年2月28日（水曜）
13時～15時30分

参加形態

ハイブリット開催

- ・がん研有明病院（定員80名）
- ・ZOOMウェビナー

申込方法

事前申込制、参加費無料
 右のQRコードで申込フォームをご確認ください。
 申込締切 2024年2月22日（木曜日）



<https://forms.gle/pQcLyDfUYS7gBR1e9>

ご講演

司会 太宰 牧子

特定非営利活動法人クラヴィスアルクス（遺伝性乳がん卵巣がん当事者会）

■ 開会の挨拶 大野真司 先生 社会医療法人博愛会 相良病院 院長



三木 義男 先生

筑波大学 プレジジョン・メディシン開発研究センター

BRCA1遺伝子の発見と研究の歩み、今後の展望



桃沢 幸秀 先生

理化学研究所 生命医科学研究センター 基盤技術開発研究チーム

ゲノム研究が教えてくれること



新井 正美 先生

順天堂大学大学院医学研究科 臨床遺伝学

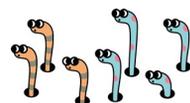
遺伝カウンセリングを受ける前に知っておいていただきたいこと



太宰 牧子 氏

特定非営利活動法人クラヴィスアルクス（遺伝性乳がん卵巣がん当事者会）

Gene Awareness（ジーン アウェアネス）～私たちにできること～



■ 閉会の挨拶 植木 有紗 がん研究会有明病院 臨床遺伝医療部 部長

「遺伝性当事者からの手紙」
写真パネル展

- 開催期間 1月10日（水）～2月29日（木）
- 会場 がん研究会有明病院 1階ホスピタルストリート

ゆっくりご覧ください